



あじさい通信

2月号

可能性は∞無限大



2016年度大学入試センター試験

3年生29名受験する



1月16日・17日に大学センター試験が金沢学院大学で行われました。本校では29名が高校の学習の集大成として受験してきました。今年のセンター試験は国語やリスニングで全国平均を上回る結果を出しました。

⇨ 1月15日の激励会の様子



☆3年生受験体験講座☆

1月20日の1年生のあじさいの時間で3年生の進学受験と就職試験についての体験を語ってもらいました。1年生時からやっておいてよかったことや、進路決定時期などこれから的高校生活でのアドバイスをいただきました。

○自分の行きたいところを第一に考え、つらい思いや苦しい思いをしてもそれから逃れないで、つねに自分に目標をもっているとうまく乗り越えていけると思いました。とっても参考になって良かったです。

「身のまわりの人たちに言われてぐっときたこと」

努力は無駄にならない（先輩）
今続けていることは将来の役に立つ（先生）
勉強も一位であれ（先輩）
マイナスよりプラスなことを言え（親）

○受験はやっぱり大変だと思いました。3年生はたくさん努力しているのだと分かりました。あきらめない心と続ける大切さを知りました。自分もがんばりたい。

○これからは英語が大切にな

ると分かりました。また、専門学校へ行くので面接など試験前の姿勢も参考になりました。

○自分の中でも今将来のことがたくさん頭に浮かんでる時期でこのような話が聞けてうれしかったです。後悔はしたくないので私もしっかり後悔のない高校生活を送りながら将来のことを考えたいです。

○面接のアピールポイントがみんな定期テストか部活だったので、やはりその2つはとても大事なことののでがんばっていききたい。その他にもアピールポイントが増えるように過ごしていきたいです。



○自分のやりたいことやつきたい職業を考えておいてどんな学校にいけばいいのかをよく調べるのが大切だとわかった。

○就職の前の面接や履歴書にある志望の動機を書くための条件などがわかった。就職をするために必要なことが分かった。

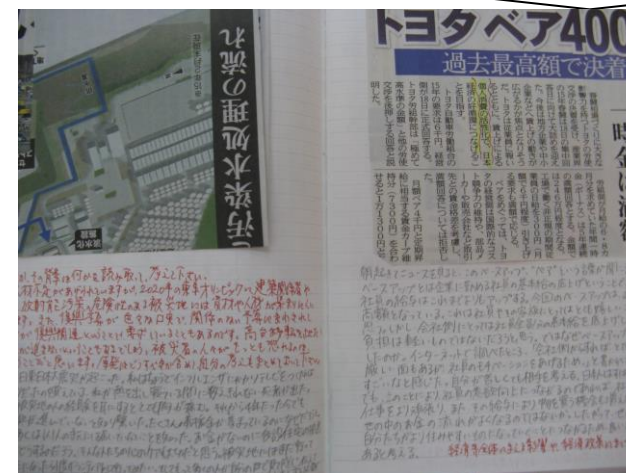
○やはり、1年のときから勉強することは大事だし、欠席や遅刻も重要視されるみたいなのでこれからも気をつけようと思った。

○なるべく資格を取っていきいたいと思った。赤点をとらないようにしっかりと授業を聴く。遅刻を減らす。動機をしっかりとけるようにしたい。

♪3年生の個別指導の軌跡♪

今年の3年生の個別指導の中で、5行日記から始まった小論文指導がありました。毎日、その日記を先生に出し続けた生徒や、新聞記事から自分の意見を書くことを続けた生徒、また過去問題を積極的にやり続けた生徒がいました。この努力はきっと自分の自信という宝物になっていくことでしょう。

3年生の個別指導ノート



第4回家庭学習状況調査 1・25～1・31 が終わりましたが自分の学習時間はどうだったでしょうか？高校生の1日の平均家庭学習時間は43分です。平均を上回るように家庭学習習慣をつけていきましょう。期末考査前の第5回家庭学習状況調査 2・15～21 があります。1年のまとめとしてしっかり学習時間を確保してってください。

こぼれ話アレコレ 学ぶとは……



江戸時代、鎖国中の日本には「和算」という独自の数学がありました。みなさんも関孝和という人物を耳にしたことがあると思います。江戸時代のベストセラーが「塵劫記(じんこうき)」という数学書で、一家に一冊あったそうです。

よく「数学なんて役にたたない、四則演算さえできればいい」という方がいますが、江戸時代はなぜ受験もないのに数学が大流行したのでしょうか？

芸術や娯楽と同じ感覚で数学を楽しめる寺小屋の秘密、それは「不思議だな」「なぜだろう」と思う私たちが本来持っている好奇心をかきたてる



おもしろさがあったのではないかと思います。そしてそこには美学もあるのではないかと思います。驚き(ワンダー)を発端とした学びのドアはいたるところにあります。授業で先生が話してくれる言葉からそのようなヒントもあるのではないかと思います。